

令和7年度及び令和8年度の 主な取組について

①健康増進事業について

1. 生活習慣病発症予防 (1) 特定健診受診状況

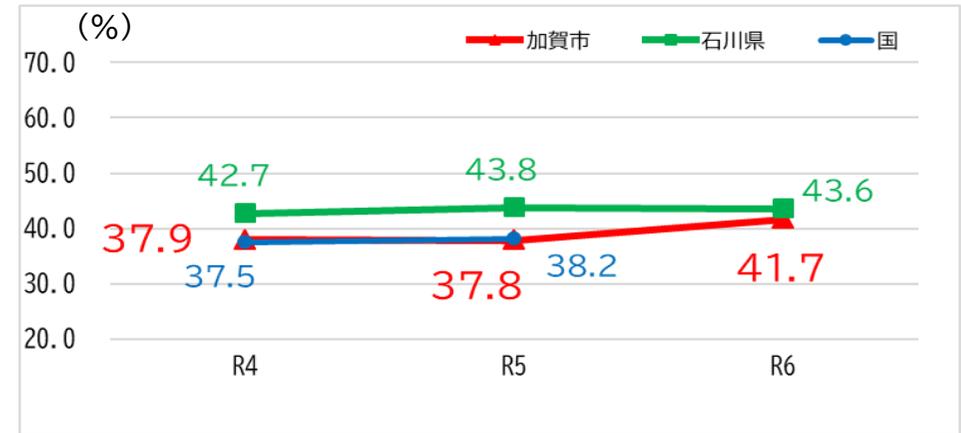
対象：加賀市国民健康保険 40歳～74歳

【特定健診】

死因の約6割を占める生活習慣病予防のため、40歳から74歳までの方を対象にメタボリックシンドロームに着目した健診

【加賀市国保特定健診受診率】

R6年度の受診率はR5年度より3.9%上昇した。



法定報告より

【令和7年度の主な取組】

| 取組 | 概要 |
|---|--|
| 健診未受診者対策 (R6年度受診率向上に結びついた取組を継続実施) ①対象者の年代や状況にあわせた健診勧奨 ②SNSを活用した若年層への健診周知の強化 ③専任者等による健診勧奨訪問及び電話 | ①国保連合会による電話勧奨事業(6月)を前年度国保加入者・不定期受診者等に年代によって時間帯を変え、電話勧奨を実施(1,009人)。また、未受診者通知(9月)R7.9月時点の未受診者全員に年代等に応じたメッセージを添えて送付。 ②市公式LINEやKAGA健幸ヘルスケアアプリでメッセージを配信。 ③受診率の低い地区(片山津、動橋、橋立、塩屋)への健診勧奨や、通院中によりデータ提供が可能と思われる者等へ訪問や電話により健診勧奨。 |
| 地域との連携による健診の周知啓発 ①健康づくり推進員と協働による健診勧奨 ②地域の関係機関に健診の周知啓発の協力依頼 ③健診委託医療機関に健診周知啓発の協力依頼 | ①受診率+3%(+260人)を掲げ、地域における健診の周知や健診費用無料対象者(40歳、65歳)及び前年度の無料対象者(41歳、66歳)に個別訪問により健診勧奨。 ②まちづくり推進協議会(地区公民館)や民生委員等に地区の健診受診率等について共有を図り、地域の活動等での健診の周知啓発を依頼。 ③加賀市の現状(健診受診率や糖尿病有病者率等)について共有し、健診の周知啓発を依頼。 |

令和8年度の主な取組

若年層へのSNSやスマホアプリの活用、健康づくり推進員、食生活改善推進員、まちづくり推進協議会や地域の企業および事業所等と連携し、健診の周知啓発を強化する。

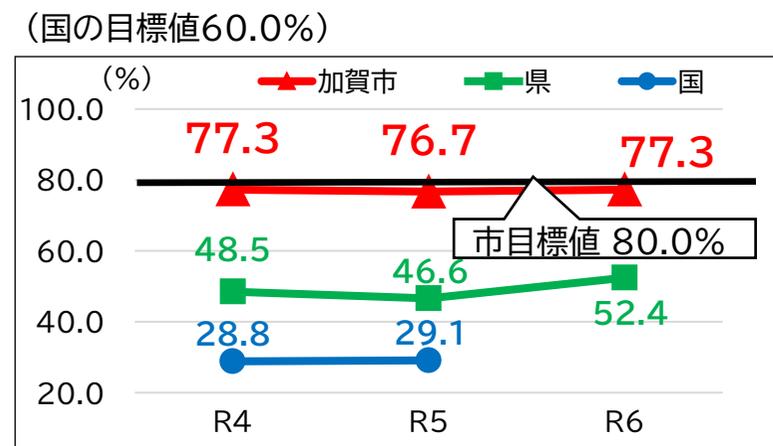
1. 生活習慣病発症予防

(2) 特定保健指導実施状況

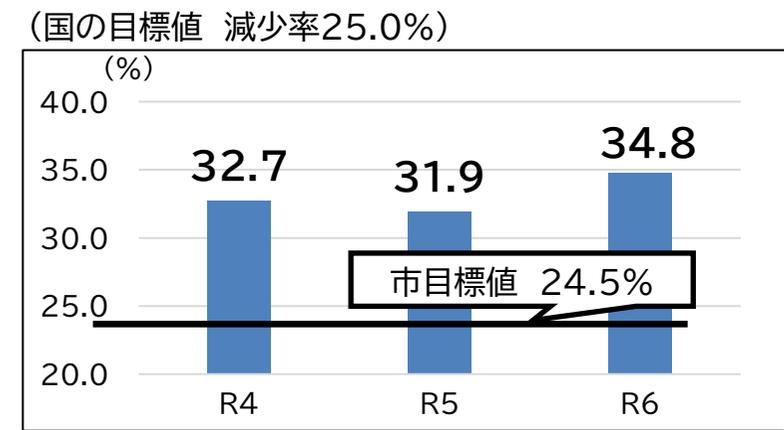
対象：加賀市国民健康保険 40歳～74歳

【概要】 特定保健指導とは、特定健診の結果から、生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善によって生活習慣病の予防効果が多く期待できる対象者に対して医師、保健師、管理栄養士等による生活習慣を見直すためのサポートをすることである。

【令和6年度特定保健指導実施率】



【令和6年度メタボリックシンドローム該当・予備群割合】



【令和7年度の主な取組】

| 取組 | 概要 |
|-------------------------|---|
| 特定保健指導実施体制の強化 | ①市内30か所の集団健診会場や医療機関健診会場で、特定保健指導が気軽に受けられるように地域在宅栄養士や5医療機関に委託し、協働で実施。 ②よりよい健康支援ができるよう、特定保健指導スタッフの情報交換会の開催。 |
| メタボリックシンドロームと生活習慣病予防の啓発 | ①健診の待ち時間にメタボ予防動画による健康情報の周知啓発(金沢大学実習生協働作成)。 ②広報誌やKAGA健幸ポイントヘルスケアアプリにおいて、生活習慣病関連のコラムを発信。 |

令和8年度の主な取組 引き続き、特定保健指導実施率向上、メタボリックシンドローム該当者・予備軍該当者の減少を目指し、特定保健指導実施体制を強化する。

【令和7年度の主な取組】

| 取組 | 概要 |
|--|---|
| 1. 検診体制の充実 ①がん検診と特定健診の一体的実施（集団健診） ②休日乳がん検診（加賀市医療センター） | ①検診受診率向上のためがん検診と特定健診を同一日に実施（30日間、3,886人受診（全がん受診者数合計）） ②乳がん検診の受診率向上のため実施（日曜日の6日間、105人受診） |
| 2. がん検診未受診者対策 ①健康フェスタや商業施設での検診案内 ②65歳無料対象者への受診再勧奨 ③NHK×全国自治体×＜希望の虹プロジェクト＞の協働による「がん撲滅キャンペーン」の実施 | ①KAGA健康フェスタや商業施設での女性がん検診会場で、検診勧奨や検診申込受付を実施（勧奨者数 250人） ②がんの好発年齢である65歳の市民対象に、全がん検診無料の案内通知を発送（勧奨者数 820人） ③NHKの番組（9月18日放映）と連動し肺がん検診未受診者への受診勧奨リーフレットの発送（勧奨者数 296人）や、市公式LINE・健康アプリでがん検診の案内を配信 |



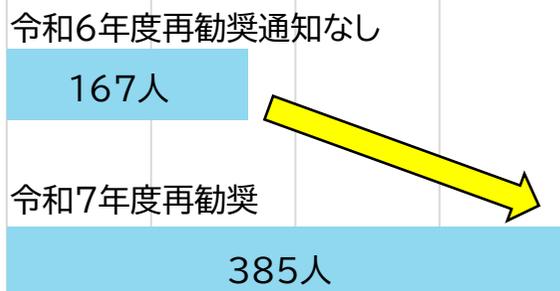
▲ KAGA健康フェスタでの検診案内健康づくり推進員による大腸がん検診の受診勧奨

▼NHK番組と連動した受診勧奨「あしたが変わるトリセツショー」でのがん特集の放送に合わせて受診勧奨



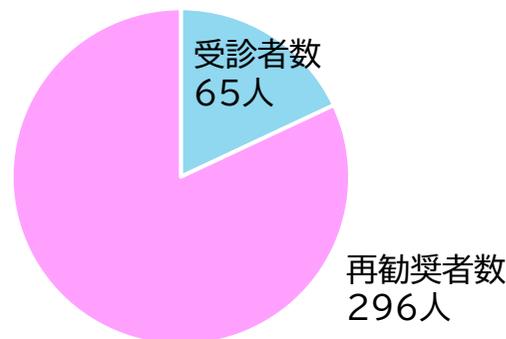
※勧奨者数は国保、社会保険等加入者の合計

【2. ②65歳再勧奨結果(速報値)】



再勧奨により全がん合計の受診者数が2.3倍に増加

【2. ③肺がん再勧奨結果】



再勧奨者のうち22%が肺がん検診を受診

令和8年度の主な取組

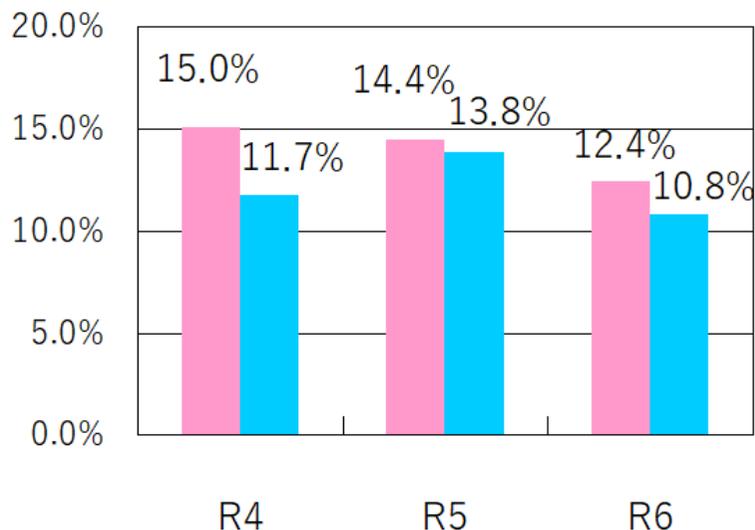
令和7年度に実施した検診体制の充実やがん検診未受診者対策の取組を継続実施し、受診率向上を図る。

【概要】重症化予防とは、医療機関未受診者や治療中断者のうち糖尿病や高血圧等が重症化するリスクの高い方に保健指導を行い、治療に結びつけることである。
また、治療中の方においても、重症化リスクの高い方に関しては、医療と連携して、心臓病や脳血管疾患、人工透析への移行等を防止することである。

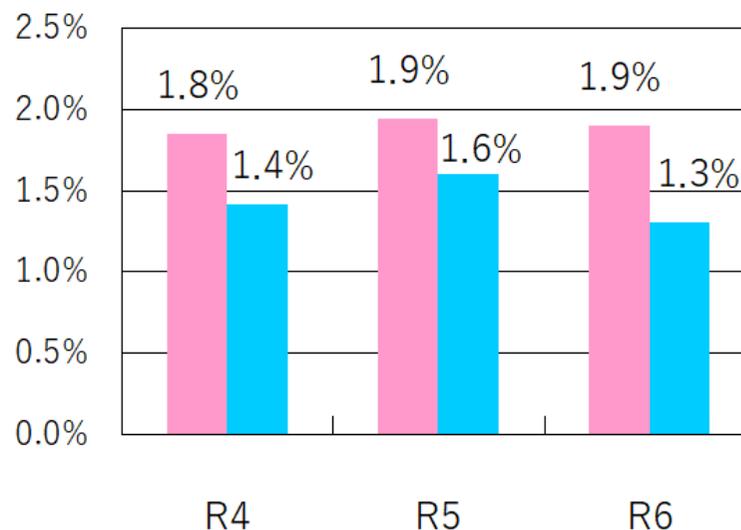
加賀市では糖尿病予防のために、糖尿病の診断となる過去1～2か月の平均的な血糖値を反映するHbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）検査を若年者健診・加賀市国保特定健診・後期高齢者健診・その他（生活保護受給者）健診で全員に実施している。

【糖尿病有病者の推移】

HbA1c6.5%以上



HbA1c8.0%以上



県や市町の実態をみる基礎資料より

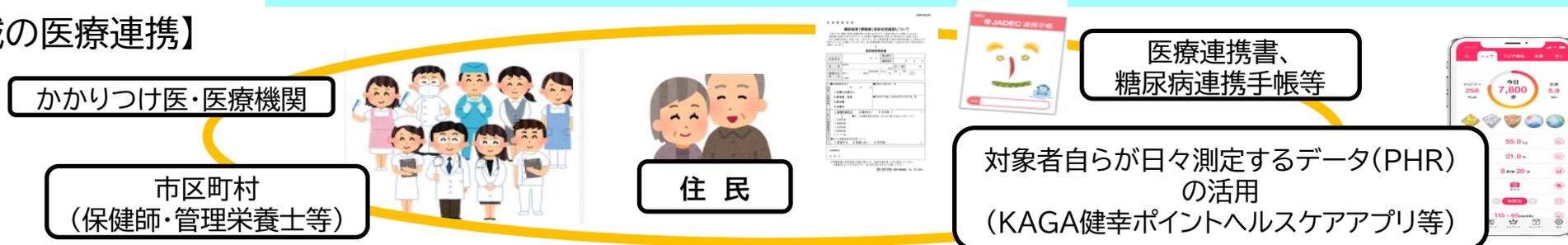
上記のグラフ（加賀市国保特定健診の結果）から、要医療判定値であるHbA1c6.5%以上の者の割合や合併症が現れる可能性の高いHbA1c8.0%以上の者の割合は県より高い状況である。

【令和7年度の主な取組】

| 取組 | 概要 | 令和6年度 | 令和7年度(見込) |
|--|--|--------------------------------|--------------------------------|
| (1)合併症の恐れがある者への治療勧奨および健康管理支援、課題分析(HbA1c8.0%以上未治療者・治療中者) | ①健診結果等にて未治療者には糖尿病専門医等への治療勧奨や治療継続できるよう、治療の必要性や生活改善等により血糖値の改善につなげる健康管理支援を行う。 ②治療中者に対し、主治医の指示に基づく（糖尿病連携手帳）健康管理支援を行い、血糖コントロール改善につなげる。 | ① 9人 ② ー | ① 5人 ②30人 |
| ➡ 病院の医師から本人が聞いていることや取り組まれていることをもとに、健康管理が継続できるよう支援を実施した。 | | | |
| (2)血糖値等正常化のための要医療判定値者への医療再勧奨及び、医療と連携した健康管理支援 | ①健診結果等に医療機関受診の案内（医療連携書）を同封しているが、 医療連携書の返信のない方へ、看護師等が訪問等により再勧奨 を行う。 ②医療連携書を活用して主治医の指示のもと保健指導を行う。指導の際にはPHR(健康に関するアプリ等)の記録データを活用し、行動変容や生活習慣改善につなげる。 | ① 64人 ② 39人 (内、PHR活用12件) | ①300人 ② 40人 (内、PHR活用15件) |
| ➡ 医療連携書の返書率は、昨年同時期と比較し上昇した（R7.1：40.5%→R8.1：47.1%）。病院受診が、自分の体を客観的に振り返る機会となり、生活習慣を見直す意識の向上につながった。 | | | |
| (3)地域の医療連携体制強化のための治療中断者対策 | 市内医療機関における糖尿病療養指導士をはじめ、 市内1医療機関(R6)→6医療機関(R7)へ事業を委託し 、治療中断者への健康管理支援を行う。 | 13人 | 21人 |
| ➡ 医療機関との連携により、過去の検査結果や経過をもとに治療の必要性を伝え、受診を促すことができた。医療機関の治療方針や患者への思いを共有することで、行政と医療が同じ方向性で支援を考える機会となり、地域全体の医療連携体制の強化につながった。 | | | |
| (4)高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業(令和2年度～) | 保険年金課・健康課・地域包括支援センターが広域連合と連携し、データ分析に基づいた効果的なフレイル予防を実施。 | 4圏域 | 5圏域 |
| ➡7圏域のうち、令和7年度は片山津、橋立、作見、動橋圏域に加え、山中圏域の5圏域に拡大し、実施できた。 | | | |

令和8年度の主な取組 引き続き取組を継続するとともに、医療連携を強化する。

【地域の医療連携】



【概要】KAGA健食健歩プロジェクト事業とは、一次予防に重点を置き、個々の「運動」や「食」等の生活習慣改善の取組を行政・民間企業・大学が協働で市民運動として普及推進する。

【令和7年度の主な取組】

○KAGA健康フェスタ2025

加賀看護学校祭との同日開催により約600人が食と運動についての体験を通して、健康づくりに関心を寄せた。



▲KAGA健康フェスタ(ラジオ体操)



▲KAGA健康フェスタ(骨密度測定)

○KAGA健幸ポイントヘルスケア

| 取組 | 概要 | 対象 | R7年度実績 (R7.12月末) | R7年度目標 |
|---------------------------------|---|------------|---------------------|----------------|
| KAGA健幸ポイントヘルスケアアプリ (R4.7~開始) | 歩数、体重記録などの健康づくりにポイントを付与し、毎月1,000ポイント以上獲得した方に抽選でデジタルギフト券、地域のお店の景品を進呈。生活習慣改善やメタボの予防・改善などの健康管理を推進。 | 19歳以上の加賀市民 | 登録者数 3,855人 | 登録者数 4,000人 |

令和7年度の取組

- ・市公式LINE、「広報かが」でアプリの周知と新規登録の呼びかけを行った。
- ・広報かが3月号折り込みに「KAGA健幸ポイントヘルスケアアプリ」の活用方法を掲載(予定)
- ・アプリを通じて魅力的な健康情報、商品等の提供により、アプリ登録者の増加を図った。

○その他取組

| 取組 | 概要 |
|---------------|--|
| 定例ノルディックウォーク会 | ウォーキングマップを活用したノルディックウォーク会等 |
| ラジオ体操 | ラジオ体操の正しい仕方を中心とした運動教室(月1回) ラジオ体操ステーションの認定 現25団体(令和7年7月に1団体追加) |



アプリトップ画面

令和8年度の主な取組

引き続き、運動を通して、生活習慣改善を行っていく。

令和7年度KAGA健食健歩プロジェクト事業等による健康づくりの推進の主な取組

| 取組 | 概要 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|------------|--|--|---|
| 健康づくり推進員活動 | 市からの委嘱を受け、「市民の健康づくりを応援します」のメッセージの下、健康づくりに関する普及啓発を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定健診未受診者に対する個別受診勧奨 ・ タバコについて考えるフォーラムへの参加 ・ 受動喫煙防止の普及啓発(KAGA健康フェスタ) ・ 自殺予防週間街頭キャンペーン | <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定健診未受診者に対する個別受診勧奨 ・ <u>地域共生社会推進全国サミットinかがの送迎おもてなしを担当</u> ・ 受動喫煙防止の普及啓発(KAGA健康フェスタ) ・ 自殺予防週間街頭キャンペーン |
| | | <div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> 健康づくり推進協議会と食生活改善推進協議会による協同事業 ・生活習慣病予防行事への相互の参加と協力強化 </div> | |
| 食生活改善推進員活動 | 食を通じたボランティア活動を実践し、市民の食生活改善を推進する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 野菜摂取推進、減塩推進、朝食摂取推進等研修会 ・ 生活習慣病予防講座、地区や学校の食育活動 ・ 食文化の伝承と地産地消の推進 ・ KAGA健康フェスタでの米粉料理・減塩普及啓発、野菜摂取推進活動 | <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>身近な日常の食材を活用した防災食について、試食や啓発を実施</u> (KAGA健康フェスタ等) ・ <u>地域共生社会推進全国サミットinかがにおいて伝承料理の柿の葉寿司のふるまい、活動紹介パネルを展示</u> ・ 試食提供による減塩普及活動(健康応援セミナー等) ・ 健康づくり推進員、児童センター、学校、高齢者の通いの場等<u>つながりを生かした食育活動</u> |

令和8年度の主な取組

引き続き、生活習慣病予防行事への相互の参加と協力強化を行う。

「地域共生社会推進全国サミットinかが」



▲サミット会場でのおもてなしの様子(健康づくり推進協議会)



▲柿の葉寿司のふるまい(食生活改善推進協議会)



▲パネル展示(食生活改善推進協議会)

【概要】 若年世代が将来のライフデザイン(人生設計)に資する視点を持ち、男女を問わず自分の身体に関心を持ち、将来、希望する方が、安心安全で健やかな妊娠出産に備えた健康管理に取り組むプレコンセプションケアを普及啓発する。

(1)企業向けライフデザインセミナー

- ・演 題:「いつかのために今考える～自分のためのプレコンセプションケア～」
- ・講 師: なないろレディースクリニック 院長 長沼 佳世先生
R7.11.27 村田機械(株)加賀工場にて実施

【参加者の声】

- ・今後のライフプランの参考に学んだ知識を役立てたい。
- ・自分らしいライフデザインを考え健康を常に意識していきたい。



(2)プレコンセプションケア検査

- ・対 象:市内在住の20～30代の女性で事前にプレコン動画を視聴済みの方
- ・内 容:AMH検査(血液検査)および、医師による結果説明と健康管理に役立つアドバイス
- ・受診人数見込み:51人

【プレコンセプション検査後のアンケート結果】

- ・自分の身体の状態を知る良いきっかけとなった。
- ・妊娠の有無に関わらず、将来健康でいる為に栄養バランスを考えた食事を摂るように心がけたいと思った。
- ・この検査をきっかけに、先生に妊活について具体的な相談もしやすかったですし、パートナーと今後を話し合うきっかけになった。など

(3)プレコン・ライフデザイン普及に向けた健康管理対策実態調査

| 対象 | 調査内容 | 方法 | 主な結果 |
|------------------------|---|----------------------------|--|
| 各分野から抽出した市内事業所(192事業所) | ①プレコンセプションケアの意識・知識 ②企業としての今後の取り組み意向 ③全従業員・若い世代の健康づくり・健康課題について | 加賀市ライフデザイン推進機構労働分野会との合同で実施 | ・回答率:15.6% ・プレコン実施企業:1割 ・今後プレコン導入に前向き:7割 |

【概要】 自殺対策基本法や「第2期 加賀市自殺対策基本計画(R7.4)に基づき、「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現を目指す。

【令和7年度の主な取組】

| 取組 | 概要 |
|-----------|---|
| 対面型相談支援事業 | 市民からの健康づくりに関する相談対応（電話、訪問、メール相談、他機関との連携会議） |
| 人材育成事業 | ゲートキーパー講座 ※ かもまる講座等に申込のあった団体に実施 R7 - 6団体(見込) (健康クラブ、健康づくり推進協議会、お達者クラブ、民生委員、看護学校、傾聴ボランティア) |
| 啓発普及事業 | 自殺予防週間街頭キャンペーン（R7.9/10） アビオシティ加賀とイオン加賀の里にて、こころ相談カード入りポケットティッシュを配布し、自殺予防の啓発を行った。 |
| | こころの健康づくり講演会（R7.9/21）『心がほっとする”モノの捉え方のちょっとした工夫”』 相談対応の中で「周りとうどう接したらよいかわからない」との声を多く聞き、考え次第で気持ちが軽くなる講演会を実施 参加者 109名 |
| | SOSの出し方に関する教育（市内小中学生 14校実施(予定)） |
| | 相談窓口の周知 こころ相談窓口カード 約12,500枚配付（相談窓口等へ） |

※「ゲートキーパー」とは、自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応（悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る）を関ることができる人のことで、いわば「命の門番」とも位置付けられる人のことです。

令和8年度の主な取組

第2期 加賀市自殺対策基本計画に基づき、ゲートキーパー等の人材育成を行い、「誰も自殺に追い込まれることのない加賀市」を目指す。



▲ こころ相談窓口カード

(1) 歯周病検診事業

※1/23時点

| | 対象者 | 受診場所 | 受診人数 | 受診率 |
|------|-------|---------------------|------|------|
| 個別検診 | 30歳以上 | 市内歯科医療機関(6/2~12/27) | 880 | 1.8% |
| 集団検診 | 19歳以上 | 6月1日(日)、11月30日(日) | 174 | 2.0% |

※ 19歳～29歳までは集団検診のみ受診可。30歳以上は集団・個別検診のどちらかを選択受診可

市公式LINEなどのSNSの活用により、受診率が、前年度に比べ約1.4倍増加した。

(2) 乳幼児のむし歯予防教室

むし歯予防対策として、保育園等、市内子育て支援センター等に歯科衛生士が出向き、乳幼児のむし歯予防のための教室を実施。

5か所 保護者参加 102名
こども 54名

【感想】 ・早いうちからむし歯予防に取り組みたい。
・仕上げ磨きの大切さを学べた。
・ジュースに含まれる砂糖が多いことに驚いた。など

(3) フッ化物洗口について ～ 子どものむし歯予防対策～

むし歯予防対策として、健康格差の縮小を目指し、こどものむし歯予防に効果のあるフッ化物洗口を実施。

| | 実施箇所 | 対象 |
|------|------------|----------|
| 保育施設 | 20園実施／全26園 | 4・5歳児クラス |
| 小学校 | 17校実施／全17校 | 全学年 |

【現場の声】
・職員も子どもたちも慣れてスムーズにできるようになってきている。

令和8年度の主な取組 歯周病検診マニュアルの改定により、歯周病と生活習慣病をはじめとする全身疾患との関連が、これまで以上に重視される内容となるため、検診では生活習慣や健康状態に関する問診項目を拡充した。

歯周病検診は、口腔内の状態を確認するだけでなく、全身の健康づくりにつなげる役割を担うものであるため、検診の目的を周知啓発するとともに、これまで実施してきた集団健診会場における歯周病検診と特定健診の同時実施など、受けやすい検診体制をとっていく。